

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

温暖化の影響

株式会社テルヴィス 小林 裕昌

8月3日、気象庁の異常気象分析検討会は臨時会を開き、西日本を中心とする8月の豪雨や日照時間が少なかった気象現象について「異常気象」だったと見解をまとめた。「異常気象」は30年に1回以下の割合と定義されるが、木本昌秀会長（東京大学大気海洋研究所教授）は「降水量や日照時間は記録的だったが、大気の流れは見たこともない状況ではなかった。こうした現象はまた起こってもおかしくない」と説明した。また、台風や前線の停滞による大雨が続いたことなどには「長期的には既に地球温暖化の影響は現れており、この先ますます顕著になるだろう」と述べた。

数年前からコメやソバの有力な産地は北へ移動して今では北海道が有名な産地となっている。農作物にも温暖化の影響は現れている。

もちろん、その影響は魚にも出ている。昨年はオホーツク海の水温が下がらず、サケが岸に近付けず産卵のための遡上が出来なかった。今年はサンマの漁獲高が大幅に減少している。小ぶりのサンマが1尾200円前後と庶民の財布にもダメージを与えている。また、サンマ漁の定置網にはブリやカツオといった暖かい海にいる魚種が掛かるようになった。漁師はその事実を不思議に感じているという。

果たして私達人間にも魔の手が迫っている。高温多湿が原因の熱中症、その注意報、警報が連日出される中、病院に搬送される人は過去最多となった。異常気象は大きな気圧の変化を生じさせ、土石流や洪水、竜巻、落雷のみならず人体に直接影響を与えている。熱帯の感染症であるデング熱の国内感染患者は12都道府県で59名（9月5日現在）と日を追って増加している。代々木公園で蚊に刺されたことが原因で感染したと見られている。個人的には、その危険性以上に未知のものに対する恐怖心を私達に植え付けたように思う。これも温暖化の影響と見るのは早計だろうか？ 遠くアフリカで流行しているエボラ出血熱も対岸の火事では済まされないかも知れない。

《幹事会のうごき》 平成26年7月18日（金）15:00～17:00、一般財団法人日本水産油脂協会新館において平成26年度第4回幹事会が開催された。

- ・7月発信予定のニュースレター「ウナギが夏バテによい理由のひとつは、魚介類のなかでもウナギに多く含まれるDHAとEPA!？」の原稿が提示された。
- ・本年度の研修会を9月5日（金）に、一般財団法人日本食品分析センターで実施することが了承された。
- ・7月18日に開催された「食品の新たな機能性表示制度に関する検討会」の概要が末木副会長より報告された。

《今後の行事予定》 会員各位へは、9月9日付でご案内を送りました。奮ってご参加ください。

○第16回公開講演会『DHA・EPAの新機能を求めて』

日時：平成26年10月23日（木）13:20～17:00

場所：アイビーホール青学会館 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷4丁目4番25号

講演：「エピジェネティクスと栄養：基礎的側面から食品によるエピジェネティックな調節までの概説」

東京農工大学 三浦 豊 先生

「リン脂質からオメガ3脂肪酸を動員するホスホリパーゼA2」東京都医学総合研究所 村上 誠 先生

「眼科領域におけるオメガ3系脂肪酸の機能性」

日本水産株式会社 辻 智子 先生

《事務局からのお知らせ》

○協議会だよりのメール配信について

現在、「協議会だより」をFAXで受信されている方のうち、メールでの配信を希望される方は、事務局までお知らせ願います。また、バックナンバーは <http://www.dhaepa.org/letters.html> にも掲載しております。